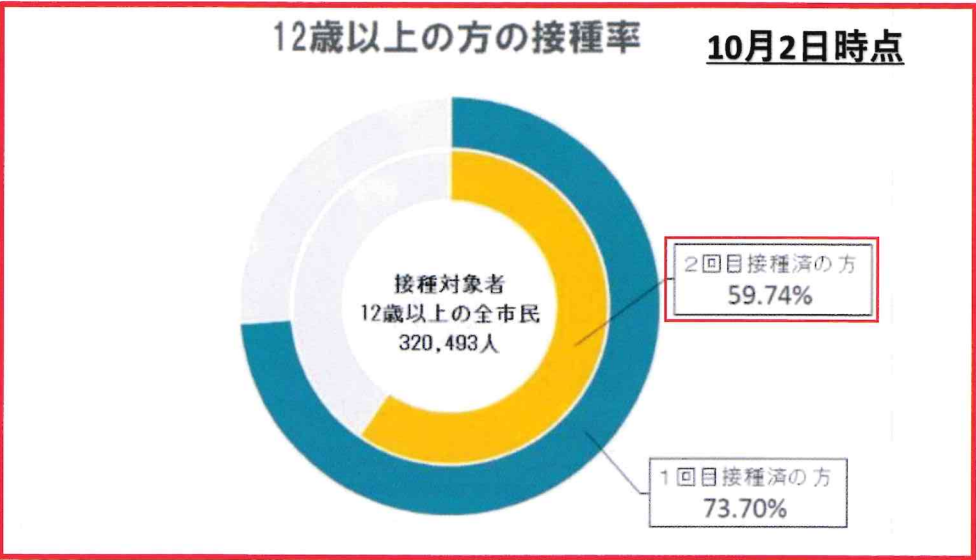


Q：本市でこれまでのペースで接種が進んだとして対象者全体の7割が完了する時期は？
A：市内医療機関及び集団接種会場では、現時点で、1回目と2回目接種を合わせて、一日あたり約2600回の接種が行われており、その他にも国や県の大規模接種会場や職域でも接種が行われております。

これまでと同じペースで接種が進んだ場合には、10月中には全体の7割の方への接種が完了するものと見込んでいます。なお、ワクチン接種を希望される方の接種については、11月末までの接種を目標に努めてまいります。

Q：誰がいつ、どこで、どのワクチン接種をしたのか、本市でも把握できているのか？また「65歳以上、6月接種者」などの条件に合致する方のデータを抽出できるのか？
A：国が導入したワクチン接種記録システムを通じて、自治体は、誰がいつ、どこで、どのワクチンを接種したのかを確認でき、システム上で保有する情報に関する一定の条件に合致する方のデータ抽出が可能です。



質問時より約1ヵ月が経過しての新型コロナワクチン接種率が左図となります。

順調に接種が進み見込みどおり10月中には7割以上の方が2回の接種を終了できるペースです。

予約枠の空きもありますので市ホームページより早期の予約をお勧めします。

【ここがポイント①】

この質問の後、厚生労働省は、2回目の接種を終えてから8ヵ月以上経っていることを目安に、3回目の接種を始めることを決めました。

ただ、どのように接種するのか、1回目、2回目がファイザーで3回目はモデルナなど交差接種実施の可否等、不明確な部分が多いのが現状ですが、本市では早く接種した方が4月下旬から5月初旬ですから、8ヵ月であれば年明けには接種対象となってきます。

ここで提言！3回目接種に向けた体制づくりを！

3回目の接種実施の際には、少なくともこれまでの接種データを活用してそれぞれの接種時期に合わせて接種勧奨の案内もしくは接種券の発送などが必要となってくるものと想定されます。

Q：3回目の新型コロナウィルスワクチン接種実施となった場合に備えて、これまでの問題点、そして先を見据えた課題の整理をしておくべきと考えますが、市の考えは？

A：当初は、予約がとりにくい状況が続き、年代別の接種券の送付時期や高齢者の方へのネット予約対応、コールセンターの電話が繋がらないなどの課題がありました。

さらに、市のワクチン接種に関するホームページの情報もわかりにくいなどのご意見もいただき、現在は、項目ごとに整理し改善を図るなど対応しています。

3回目実施を見据えた課題では、2回目接種した方への案内や予約の方法など、様々な面で課題があります。

今後国からの情報に注視し、これまでの課題整理並びに新たな課題の解決に向けた検討を早期に行ってまいります。

昨年9月議会では「コロナ禍におけるインフルエンザ予防接種の重要性」について一般質問をさせていただきました。

その後、65歳以上の高齢者インフルエンザ予防接種の自己負担が無償化され、結果として例年よりも多くの方が接種することができたことや新型コロナウィルス対策でマスク着用が徹底されたことなど様々な要因によって、昨年はインフルエンザの大きな流行はありませんでした。

今年もこれから季節性インフルエンザ流行期を迎えますが、現在まだ新型コロナワクチン接種を進めている状況だからこそその課題もあるものと考えます。

Q：前年度及び前々年度の高齢者インフルエンザ予防接種の接種者状況は？
A：令和2年度6万590人で接種率64%、令和元年度4万585人で接種率43%となっております。

前年度は無償化や新型コロナとの同時流行を危惧して接種状況は大きく増加しました。さらに質問を通して今年度の高齢者インフルエンザ予防接種の概要を確認しました。

高齢者インフルエンザ予防接種実施概要

	接種期間	自己負担
今年度	10月20日～1月31日	1,500円 (生活保護受給世帯等除く)
前年度	10月1日～1月31日	0円



【ここがポイント②】

昨年はインフルエンザ予防接種開始当初、希望者が殺到し、ワクチンを打ちたくても打てない方が多く、病院は非常に混雑していたと記憶しております。

そして7割の方が新型コロナウィルスワクチン接種を終えるには10月末までかかり、希望されるすべての方の接種を11月末までを目標に進めていくとのことですから、インフルエンザ予防接種期間が重なり、昨年以上の医療機関の混乱が懸念されるところです。